

未来づくり懇談会（塩田）会議録

日 時：平成29年2月21日（火）
19：00～20：25

場 所：幸岡自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策課長、
教育総務課長、総合政策課長補佐

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○持続可能な矢板西部地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計、西小学校についてのアンケート等について説明。

5 意見交換

Q1 豊田小、乙畑小の児童数が増える傾向にあるが要因は。

A1 豊田小は学区を厳格化し、以前は別の小学校に通っていた児童が豊田小に通うようになった。乙畑小は学区内のつつじが丘ニュータウンの分譲が好調で、若い世代が住むようになり増加している。

○2 塩田で小学生がいるのは5戸。うち西小に通っているのは3戸。西小の存続にこだわっている時ではない。西小跡地をどう活用するかも含めて検討すべき。

○3 西小は1年生から6年生が一緒に遊ぶにしても人数が少ないうえに年代がバラバラなのでかわいそう。通学の手段を整えるのであれば統合した方が良いと思う。

平成29年10月 矢板小への統廃合 合意

平成29年11月 平成31年3月閉校で教育委員会議決、市議会報告

Q4 矢板市に永住してもらう人を増やすために、市として企業誘致以外に市の魅力をPRする具体的な政策はあるのか。

A4 地場産業の振興が必要。矢板の場合、林業からなる木材産業の見直しが必要。暮らしのびのび定住促進補助金は一定の成果を挙げている。

平成23年度～平成29年度

利用件数 546件 1843人 交付金額 281,800千円 転入世帯 30.4%

平成29年度実績

利用件数 91 件 296 人 交付金額 48,500 千円 転入世帯 40.7%
 平成 30 年 4 月より補助金額を拡充
 用地購入 20 万円(10 万円増)
 市内業者を元請とする新築 10 万円(5 万円増)
 特定地域加算(矢板駅西地区) 20 万円(新設)
 新築住宅に太陽光発電設備を設置 最大 10 万円(新設)

Q 5 矢板の魅力をもう少し P R できるものが欲しい。市民と市がアイデアを出し合い話し合える場が欲しい。

A 5 矢板市は土地利用型の農業がほとんど。作目の見直しが必要と思う。学校給食で地元の農産物を使い地域経済が回る仕組みを作りたい。

Q 6 矢板に足を運び、現地を見て家を求める人たちのための受け入れ態勢、仕組みをつくっては。

A 6 空き家バンクについては市でも取り組んでいきたい。農家の場合は家に加えて農地が必要。新規就農を目指す方に農地情報を提供できる仕組み、取り組みについて今後の研究課題とする。

平成 29 年 6 月	空き家バンク実施
平成 29 年 8 月～12 月	現況調査結果等に基づく空き家の実態調査（詳細調査）を実施
平成 30 年 3 月	空家条例制定
平成 30 年度	空家計画策定予定

○ 7 リタイアしてから矢板のような田舎に住みたいと思っている人がいると思う。企業誘致だけではなく、田園風景を活かした人を呼び込む取り組み、環境づくりをしてほしい。

Q 8 エコハウスは利益を出す施設ではないと聞くが、エコハウス自体は利益を出さなくても、呼び込み施設として利用すべきでは。

A 8 エコハウスは国で利用の決まりが示されている。緩和できるところは緩和したいと考えている。

Q 9 山の駅は毎年赤字か。費用対効果を出すには規制緩和が必要では。

A 9 真冬は来客が無いため道の駅と比べ厳しい運営となっている。指定管理者と協議しながら、より良い管理をしていく。

○ 10 昔の東武線の線路だった道路を舗装してほしい。